

『路木ダム』を造らなくても

# 水はあります!

給水可能なダムがあるのに…

河浦町八久保川には農業用水や水道水用としてすぐ使える『八久保ダム』(写真)があり、「飲料水として問題ない」との検査結果も出ています。

水は貯めてあるのに使わない理由がほかに何かあるのでしょうか。

(写真は総貯水容量約20万トンの『八久保ダム』)



## 渇水対策は多種類の水源が有効

知事は「路木ダムによって安定的な水が確保できる」と説明しています。

100年に1度の渇水といわれた平成6年、旧本渡市ではダムは枯れかかったが、地下水と川からの取水でのり切りました。

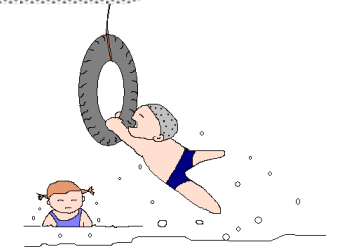
ダムだけに頼るのでなく、河川水(一町田川は水量豊富)や地下水など多種類の水源を持ったほうが渇水対策として有効、というのが歴史の教訓です。

## 子どもたちの遊び場がなくなる!

路木川は天草でも珍しくなった自然の清流です。夏には泳いだり、

水遊びをしたり、多くの子どもたちの遊び場になっています。

路木ダムが造られると、下流はにごり、水量も減るために子



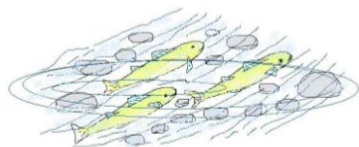
# ダム建設費用はだれが払う？

路木ダム建設費と関連水道事業費の天草市負担分は約 33 億円です。このお金は水道料金の値上げや一般会計から払っていくことになります。

天草市の水道料金は、今でも県内最高クラス(牛深は熊本の 1.5~2 倍)。借金は 770 億円もかかえ、危機的です。これ以上市民負担を重くされてはたまりません。

路木ダムは県事業ですが、熊本県の借金もすでに 1 兆 3 千億円を超え、福祉・医療・教育が犠牲にされています。

巨額をかけ、自然を破壊するダムでなく、安くて安心な水源を追求してこそ将来にツケをまわさず、自然を大切に残していく道です。



## 路木ダム建設で漁業は大きな被害

県は「路木ダムの集水面積は注ぎ込む羊角湾の 5%なので“影響は小さい”」と説明しています。

羊角湾には多数の絶滅危惧種が生息する貴重な干潟や県内最大のアマモ場があり、魚介類の産卵場所・稚魚の生育場所です。ここが被害を受けると、影響は湾内だけでなく天草西海岸沿岸漁業全体に及びます。

八代の荒瀬ダム撤去の主な理由は、ダム湖の水質汚濁、環境悪化で、河口の砂干潟がヘドロで覆われ、アマモ死滅し八代海が漁獲量も激減したことです。

## 堤防の高さねつ造!!

「路木川北側（右岸）堤防の標高が県の測量より約 50 ㌢高く、ダム建設の大きな理由だった民家への浸水被害は起きる確立が極めて低いことが 20 日判明した」(西日本新聞 H22. 12. 21)。

増水したら北側（右岸）が氾濫することは、地形的にもあり得ないことは誰が見ても明らかです。

別の川の氾濫写真や浸水被害を偽ったり、廃水を飲んでいられるかのように知事が示したり、数々の虚偽の報告にもとづく建設強行は許されないと思いませんか。



『西日本新聞』H22.12.21

10. 12. 21 N.

(第3種郵便物認可)

### 路木川の氾濫想定図

熊本県立熊本大学 市民団体「民家被害考えられず」

民間測量 県より50㌢高く  
堤防氾濫の根拠揺らぐ

熊本県立熊本大学「約50㌢高く、水浸しの恐れあり」と報告した民家被害をめぐって、市民団体「民家被害考えられず」は、県立熊本大学の調査結果を巡って、県立熊本大学の調査結果をめぐって、県立熊本大学の調査結果をめぐって、県立熊本大学の調査結果をめぐって...

建設予定地を何度も視察したダム問題の専門家、今本博健京大名誉教授が「究極の愚行」と評した「路木ダム」。数々のウソで国や住民をだましてばく大な税金を投じて造られようとしている『路木ダム』を考え直すために「路木ダムの再検証を求める天草連絡会」を立ち上げました。ぜひ、ご一緒に声を上げましょう。